

放課後等デイサービス 支援プログラム

【 令和7年2月1日作成 】

5領域	支援内容
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ■健康状態の維持 ■基本的生活スキルの獲得 ■生活リズムの安定 ・トイレで用を足す ・排泄の感覚を覚える ・着替えができる ・スプーンや箸を使って食事が出来る ・食事やおやつ後の食器の片付けができる
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ■姿勢保持や運動動作の向上 ■姿勢保持と運動・動作の補助 ■総合的な感覚運動 ■感覚の特性への対応 ・バランスボール等の遊具を使った感覚運動 ・ストレッチ、ラジオ体操等の軽い運動
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ■認知の特性についての理解と対応 ■空間・時間・数等の概念の把握 ■外部環境に適切な認知と行動 ■行動障害への予防及び対応等 ・小集団でのゲームでの適切な行動形成 ・物の機能や属性、形、色、音が変化の様子の把握 ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚 ・数の認知形成 ・空間、時間等の概念の把握 ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニケーションの基本的能力の向上 ■言語の形成・受容と表出 ■コミュニケーションの手段の選択 ■状況に応じたコミュニケーション ・スタッフとの簡単な単語のやりとりから基本的能力の向上を図る ・始まりの会で自分の気持ちを発表する場を設け言語表出に努める ・文字、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を選択 ・どのような言葉・態度だと楽しいかを学び、正しいコミュニケーションを覚える。
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ■他者との関わり(人間関係) ■自己の理解と行動の調整 ■仲間づくりと集団への参加 ■情緒の安定 ■遊びを通じた社会性の発達 ・見本になる利用者の近くに誘う等の関わり ・促し ・遊具遊びを通して勝ち負けの楽しさや悔しさの感情行動を調整する ・役割分担のある遊びなどの協同遊び ・ルール理解が必要な遊びや集団活動 ・外出等での地域施設の利用 ・社会のルールを学ぶ

本人支援

法人理念

- ・利用される方々の望む生活を念頭に置き、地域社会において自立した生活を営む事ができるよう必要な支援をする。
- ・障がいを持つ方の豊かな未来の創造をお手伝いできるような最良の支援に努める。

支援方針

生活能力の向上のためのトレーニングや将来「働く大人」になるためのトレーニングなどを継続的に提供する事により、学校教育と相まって障害児の自立を促進すると共に、放課後の居場所を提供します。

営業時間

- ・授業終了後 13:00~17:30
- ・休業日 8:30~17:30
- ・土曜営業日 9:00~12:00

送迎 あり

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ■障害の特性に配慮した家族環境の整備 ■日常生活において、本人の意思を大切にしながら、やりとりをする場面を増やす ■家族のニーズに応じて、相談援助を事業所での対面にて実施する
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ■移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ■地域とつながりの取り組み
地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ■役割分担と情報を共有し、日常的な生活や支援に対して具体策を提案する ■個別のケース検討のための会議への出席 ■自立支援協議会等への参加 ■関係機関との連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談支援等の援助
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■施設内研修 ■外部研修への派遣など ■他事業所の視察研修と支援方法の情報交換 ■関係機関との定期的な情報の共有
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ■季節に合わせた行事(節分・ひなまつり・水遊び・クリスマス会・雪遊び)の実施 ■長期休業中には、地域施設や公共機関への外出レクリエーションを計画 ■外部講師を招いての定期的な活動